

新涯地区 大規模雨水処理施設整備事業計画（福山市）

（様式１）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	新涯ポンプ場は、1985年（昭和60年）に供用開始しており、下水道ストックマネジメント計画に基づく点検・調査の結果から、ポンプ設備の更新が必要と判定された。また、所定の耐震性能を保持しておらず施設の地震対策が必要である。 これらの施設について適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため、集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。
整備目標	① 本計画における対象降雨 ・ハード整備による整備水準の目標：42mm/h（1/7確率降雨） ②目標設定 - i)生命の保護の観点：当該排水区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設 65 箇所の浸水被害を軽減する。 - ii)都市機能の確保の観点：医療機関等の浸水被害を軽減する。 - iii)個人財産の保護の観点：家屋の浸水被害を軽減する。 - iv)その他：特になし

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有（平成 年 月 日策定済み） ・ <u>策定予定</u>（令和8年3月末策定予定）			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・新涯ポンプ場 耐震化・設備更新
			下水道管理者以外	・該当なし
		ソフト対策	下水道管理者	・内水ハザードマップの作成・公表
			下水道管理者以外	・該当なし
	自助	ハード対策		・止水板の設置
		ソフト対策		・自主防災計画の作成と訓練の実施

年度計画（百万円）

名 称	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
耐震化	69	88	252		409
設備更新			607	607	1,214
計	69	88	859	607	1,623

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	・ 設置から 38 年が経過している新涯地区のポンプ場について、雨水排水機能を適切に確保する。（456m³/分、1/7 対応） ソフト対策、自助の整備効果等： 内水ハザードマップによる情報提供及び建築物内部の浸水を防止する止水板の設置により、浸水被害の軽減を図る。
放流先河川との調整状況	該当なし
その他	特になし

位置図

